

事例34

津軽ダムの役割と模型製作

DATA
 場所：青森県弘前市
 実施者：津軽ダム工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (0172) 85-3005]
 参加者：弘前工業高校土木科生徒 約300名
 実施日：平成11年11月18日 他

関係する分野
 環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

背景

「土木の日」に開催される「土木の日フォーラム」は、建設業関係者や高校生が参加して講演や技術発表を通して、土木事業の必要性和今後の展望について考えるために毎年開催されています。近傍の高校生の取り組みとして、オリジナルビデオの制作や津軽ダムの模型製作について発表しました。発表の場を設けることは、生徒が積極的に題材に取り組む良い機会となります。

内容

オリジナルビデオは、「水の大切さ」を考えるテレビ番組の制作(放送部員)と津軽ダムの役割を説明するために、三百分の一の津軽ダムの模型を作りました(土木科)。模型をつくる際、CADによる製図や詳細な外観とCG作成、放流シミュレーションの実施を行いました。ビデオ及び模型は土木フォーラムで発表を行いました。ビデオは、全国高校生放送コンテストでも発表しました。



模型製作状況



ビデオ編集会議状況

ポイント

- 建設技術者との発表の機会を設けることは、生徒が積極的にテーマへ取り組むよい機会となりました。
- 身近な事業を取り上げることで、事業の理解を深め、また自分たちの生活を見つめることができました。

成果

ビデオ制作を行うことにより、津軽ダムとダム建設によって変化する住民の生活の変化や「水の大切さ」に関する意識を知ることができました。また模型製作を行うことにより、CADの使用や素材の考慮など実践的な作業を通し、土木について更なる理解を深めました。またダムの役割を知ることができました。

参加者の声

「もう少し時間をかければ、もっと水の大切さを伝えられたかもしれない」(弘前工業高校 3年生)



放流シミュレーション



陸奥新報 平成11年11月21日



模型完成

次のステップに向けて

- フォーラムという形での発表会を設けることは、生徒たちにとっても専門的な知識を得るよい機会となります。また建設業関係者も高校生の視点で建設をどう捉えているか知ることができます。その作品だけではなく、作品ができるまでのプロセスを発表することで、一層理解を深めることにつながります。

見学会
 交流会
 講座
 職場体験
 ボランティア
 勉強会